

枚方公済病院 外科のご紹介

当科は、消化器外科を中心に一般外科、乳腺外科領域まで幅広い外科診療を行っています。予定手術から急性腹症まで安定した診療体制を維持しています。2026年4月からは、スタッフ6名、専攻医1名の計7名体制となり、継続性と安定性のある外科診療を行います。また、当院は京都大学外科関連施設の一つであり、標準治療に基づいた外科診療を実践しています。

地域の先生方が
安心してご紹介いただける
外科を目指します!!

2026年4月より

外科科長

山田 理大

(やまだ まさひろ)

副院長

竹山 治 (たけやま おさむ)

外科医長

増井 秀行

(ますい ひでゆき)

外科副科長

久保田 恵子 (くぼた けいこ)

外科部長

水本 素子 (みずもと もとこ)

他スタッフ：外科医長 木村 有佑 (きむら ゆうすけ)

対象疾患

消化器疾患

胃がん・大腸がん・肝がん、胆嚢結石症、急性胆嚢炎、虫垂炎（穿孔例含む）、腸閉塞、鼠径ヘルニア、内痔核、直腸脱など

各種治療ガイドラインに基づき、患者さんごとに最適な治療方針を決定しています。

腹腔鏡手術

消化器疾患のほとんどを最新の4K・3D腹腔鏡下で施行しています。内視鏡外科学会技術認定医3名が在籍し、安全性の高い低侵襲手術を行っています。

主な手術実績
(2025年)

年間手術症例数 645例、緊急手術 144例、直腸切除 30例、結腸切除 47例、肝切除術 14例、胆嚢摘出術 143例、急性虫垂炎 44例、鼠径ヘルニア 88例、直腸肛門良性疾患 48例

ロボット手術

2023年よりダヴィンチXiロボット支援下直腸切除術を保険適用で実施しています。直腸がん（特に下部直腸がん症例）において、根治性と肛門温存の両立を目指した手術が可能です。

直腸・肛門良性疾患

直腸・肛門良性疾患の手術を年間約50例行っています。内痔核に対しては手術療法およびジオン(ALTA)注射療法を症例に応じて選択しています。直腸脱手術にも対応しています。

高齢者対応

高齢患者さんや併存疾患を有する患者さんに対しても、他科と連携し周術期管理を行っています。術後は早期離床・早期リハビリを行い、早期逆紹介を心がけています。

集学的治療

消化器内科と合同でカンサーボードを開催し、免疫チェックポイント阻害薬を含めた集学的治療を行っています。

地域医療連携室 (072)808-0010

(月・火・金) 8:30-20:00、
(水・木) 8:30-17:15、(土) 9:00-13:00

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233